

# 令和5年度事業報告書

熊本県は、人口が1,717,766人、高齢化率が32.1%（いずれも熊本県推計人口調査（令和4年10月1日現在））で、全国より早く人口減少、高齢化が進行している。このような中、県では、令和3年3月に「新しいくまもと創造に向けた基本方針」（令和3年度～5年度）を策定し、熊本地震、新型コロナウイルス感染症、令和2年豪雨災害といった喫緊の課題に立ち向かうとともに、SDGsなどの新しい時代の流れを取り入れ、「豊かで活力に満ちた熊本」の実現に向けて取り組んでいる。

基本方針の中では、高齢者に係る取組みとして、安全安心な社会の実現に向け、子供や高齢者、障がい者等が自分らしく安心して住み慣れた地域で暮らせる社会の実現を目指し、健康寿命の延伸に向けた取組みや医療提供体制の確保、就労支援を行うとともに、地域での見守りや交通事故の抑止、地域の公共交通手段の確保等に取り組み、安全・安心な地域づくりを推進するとされている。

また、令和3年3月に策定された第8期熊本県高齢者福祉計画・介護保険事業支援計画（長寿・安心・くまもとプラン）においても、「高齢者が健やかに暮らし、いきいきと活躍できる“長寿で輝く”くまもと」づくりを目指し、すべての高齢者が、暮らしたいと思う地域・場所で、快適かつ安心・安全に、生きがいと社会参加の機会を持ちながら、自立して長寿を全うすることのできる熊本を目指すこととされている。

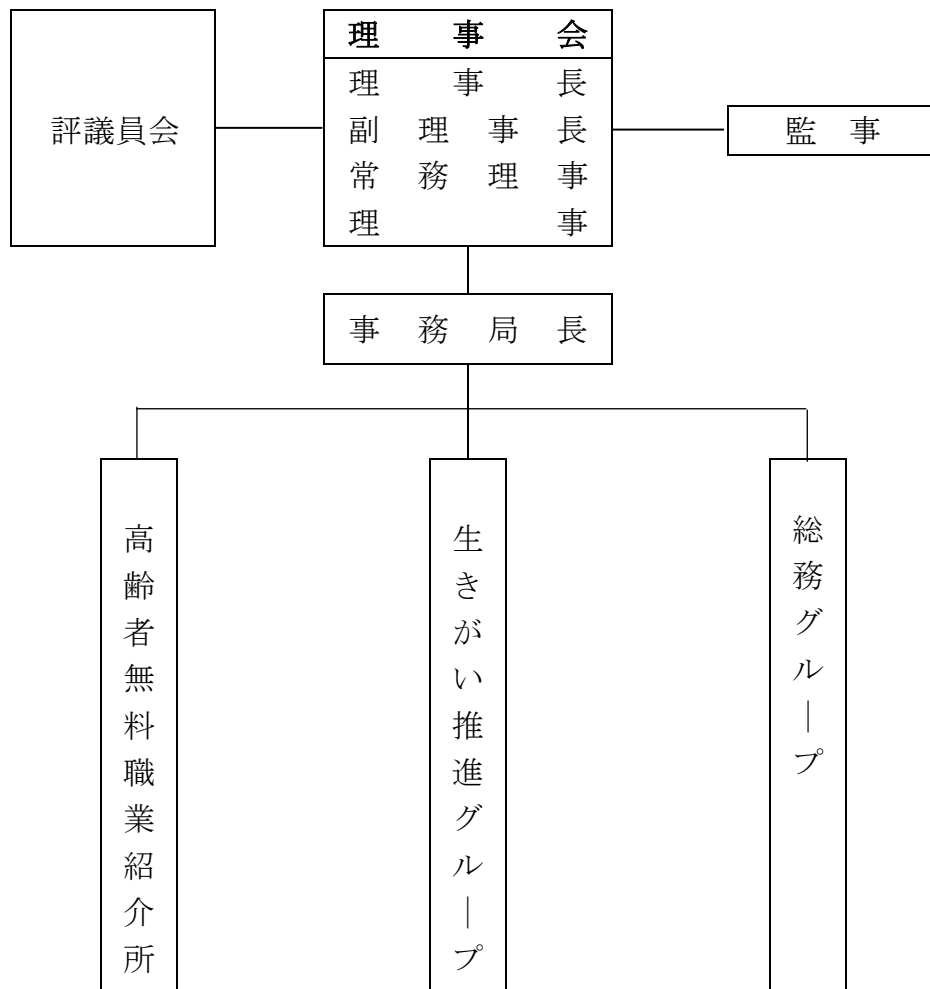
当財団には、こうした状況を踏まえ、「“長寿で輝く”くまもと」を目指し、活力ある長寿社会づくりの一翼を担うことが期待されており、令和5年度は、国や県と協調した施策展開、市町村、社会福祉協議会、老人クラブ、各種団体・企業等と連携した事業等の実施に努めるとともに、簡素で効率的な運営に留意しながら、引き続き以下の事業に取り組んだ。

また、これまで財源不足を補完してきたねんりんピック基金が令和5年度に枯渇するため、令和6年度から基本財産を取り崩すとともに、引き続き事業の改革と公益財団法人への移行に取り組むこととした。

## 1 高齢者の積極的な社会参加を支援するための生きがい・健康づくり事業

## 2 高齢者への就労支援事業

# 組 織 図 (令和5年度)



# 事業実施状況

## 1 高齢者の積極的な社会参加を支援するための生きがい・健康づくり事業

### (1) 広報事業

高齢者の生きがいと健康づくりに役立てるための情報を提供することにより、明るい長寿社会づくりに寄与した。

#### ① 情報誌「さわやか」の発行（年2回）

健康・保健・福祉等に関する情報はもとより、高齢者の社会参加・貢献や仲間づくりに関する記事を掲載した情報誌を発行し、企業、市町村、市町村社協、老人クラブ、病院、公民館、図書館等に10,500部配布した。

- ・第98号(夏号) 特集:輝いて生きる
- ・第99号(春号) 特集:輝いて生きる

#### ② 財団事業紹介等のホームページの運営

当財団の各種情報発信、シルバースポーツ交流大会をはじめ各種イベントの参加者募集等を行うなど、ホームページにより適時的確な情報を提供した。また、フェイスブックを活用し、財団と利用者あるいは利用者相互の交流の場を提供した。

#### ③ さわやかパートナーシップ講演会の開催

熊本さわやか大学校卒業生の地域における主体的な各種活動の活性化及びさわやか大学校の広報のため、各校卒業生会とのパートナーシップのもと、生きがいや健康づくりのための講演会を開催した。

- ・熊本校 令和6年2月 6日(火) 参加者 240名
- ・八代校 令和5年8月 22日(火) 参加者 340名
- ・天草校 令和6年3月 26日(火) 参加者 46名
- ・人吉・球磨校 令和6年2月 19日(月) 参加者 42名

### (2) 人材育成事業

高齢者が地域の活力維持の担い手としてその役割を果たせるよう、学習、活動の機会を提供するとともに、高齢者の持つ豊かな知識と社会経験を活用し、その活動の支援を図った。

#### ① 学習機会の提供

##### ア 熊本さわやか大学校の開校

高齢者の生きがい・健康づくりと仲間づくり、社会参加の促進を図るとともに、高齢社会のリーダーを育成するため、熊本さわやか大学校を開校した。

なお、令和5年度は、新型コロナ対策として通常より定員を減じて開校した。

	定員	入学者	修了者
熊本校(31期)	70名	79名	73名
八代校(23期)	40名	21名	17名
計	110名	100名	90名

## イ 出前講座の開催

遠隔地の高齢者を対象に熊本さわやか大学校の講師を派遣して実施。高齢者の生きがい・健康づくり、並びに社会参加の意識を高めてもらうため、2地域で開催した。

- ・天草校 令和5年8月22日(火) 参加者 66名
- ・人吉・球磨校 令和5年9月19日(火) 参加者 45名

## ② 高齢者の人材活用、活動支援

高齢者が長年にわたって培ってきた知識や経験を活用するとともに、その活動を支援した。

### ア 「熊本さわやか知恵袋」登録者の活用

長年にわたって培ってきた知識や技能を有する高齢者を登録し、地域や団体などの利用者からの依頼に基づき登録者を派遣し、子供たちとの交流、福祉施設の慰問及びスポーツ・文化の普及など、高齢者の地域活動の活性化を図った。

- ・知恵袋登録者・・・スポーツやアトラクションなど5分野  
個人：97名、団体：9グループ（令和6年3月31日現在）

（参考）

知恵袋登録者の活動状況（令和4年4月～令和5年3月）

- ・活動回数：個人 延べ1,124回、団体 延べ531回

### イ さわやかボランティアーズ活動の支援

さわやか大学校の卒業生が地域毎に仲間づくりを図りながら、ボランティア活動を実践していこうという趣旨で結成された「さわやかボランティアーズ」の主体的な活動を支援した。

なお、長年にわたるボランティア活動が認められ、令和6年1月に「第128回熊日緑のリボン賞」を受賞された。

（令和5年度の主な活動）

- ・環境美化活動（10月、熊本城行幸坂周辺及び坪井川）
- ・シルバー作品展、シルバー囲碁・将棋大会等財団主催事業の運営補助

## ウ さわやかシニアくらぶ活動の支援

熊本さわやか大学校卒業生等で組織する運営委員会(熊本さわやかシニアくらぶ)が、サラリーマン OB など高齢者の社会参加を目的として行うイベント(小旅行等)の企画を支援した。

### **(3) スポーツ・文化振興事業**

各種のスポーツ・文化活動を通して高齢者の健康保持と交流機会の拡大を図ることにより、新しい仲間づくりや積極的な社会参加を促し、元気に暮らせる地域社会づくりを目指した。

#### **① シルバースポーツ交流大会の開催**

高齢者の健康保持と交流機会の拡大を図るため、シルバースポーツ交流大会を開催した。

- ・期間 令和5年5月10日(水)～5月21日(日)
- ・会場 熊本県民総合運動公園ほか8会場
- ・参加者 1,360名
- ・種目 18種目

テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、健康マラソン、グラウンド・ゴルフ、ソフトバレーボール、サッカー、ラージボール卓球、弓道、ダンススポーツ、剣道、太極拳、ゴルフ、スポーツウェルネス吹矢、バウンドテニス、バドミントン

#### **② シルバー囲碁・将棋大会の開催**

高齢者が日頃から親しんでいる囲碁・将棋を通じて、相互の交流や生きがいづくりを促進することを目的に開催した。

- ・期日 囲碁 令和5年6月3日(土)、将棋 6月4日(日)
- ・会場 熊本県総合福祉センター
- ・参加者 囲碁88名、将棋47名

#### **③ シルバー作品展の開催**

高齢者の文化活動を促進し、生きがいづくりの推進を図るため、シルバー作品展を開催した。

- ・期間 令和5年8月29日(火)～9月3日(日)
- ・会場 熊本県立美術館 分館
- ・部門 6部門(日本画、洋画、写真、書、彫刻、工芸)
- ・出展作品数 305点

#### ④ 第35回全国健康福祉祭えひめ大会(ねんりんピック<sup>えがお</sup>愛顔のえひめ2023)

##### への選手派遣及び作品の出品

ねんりんピックかながわ 2022 にスポーツ等選手団を派遣するとともに、作品を出展し、他県の高齢者等との交流を図った。

- ・開催地 愛媛県内20市町
- ・期間 令和5年10月28日(土)～10月31日(火)
- ・派遣選手 148名(スポーツ及び囲碁・将棋)
- ・美術展出品 令和4年度に開催した第34回熊本県シルバー作品展6部門の金賞及び銀賞のうち11作品を出品

## 2 高齢者への就労支援事業

### (1) 熊本高齢者無料職業紹介所の運営

高齢者の就労希望者に対してハローワーク及び熊本県生涯現役促進地域連携協議会と連携しながら、その能力に応じた職業紹介を行うとともに、事業主に高齢者雇用(求人開拓等)を働きかけた。

なお、熊本高齢者無料職業紹介所は、県の就労相談窓口の労働部門への統合に伴い、令和6年3月末をもって廃止した。

- ・紹介責任者1名、事務支援員1名(熊本相談所)  
能力活用推進員(各県地域振興局) 10名

#### ① 求人・求職・就職状況

- ・求人数 1,424名
- ・新規求職数 661名
- ・紹介数 558名
- ・就職数 278名

### (2) 熊本県生涯現役促進地域連携協議会事務局の運営

令和3年度から令和5年度までの3年間、厚生労働省委託事業である生涯現役促進地域連携事業(地域協働コース)を受託した熊本県生涯現役促進地域連携協議会の事務局を当財団に置き、熊本高齢者無料職業紹介所と連携しながら高齢者への多様な就労支援に取り組んだ。

なお、生涯現役促進地域連携事業の終了に伴い、協議会は解散することとなった。(令和6年7月日途)